

河北大学 2007 年博士研究生入学考试试题

(套别 A)

学科、专业	研究方向	考试科目	备注
教育史	外国教育史	专业日语	55 分钟

一、次の日本語を中国語に訳しなさい：[30 点]

1872年「学制」が出され日本の近代公教育は始まった。それから約130年。日本の教育が歩んだ道を振り返ってみようと思う。

近代日本教育史の通史研究としては、文部省による「学制百年史」と国立教育研究所による「日本近代教育百年史」が参考になる。

明治政府は富国強兵を実現するために、国民への教育の普及をめざした。政府は欧米文化の導入と指導者養成のために大学を創設しようとした。また国民のために小学校を開設しようとしたが、当時はまだ各藩によってバラバラな施策がとられていた。1871年（明治4年）の廃藩置県の後、政府は「大学」（当時は行政機関であった）を廃止し「文部省」を設置。全国の教育すべてを統括することとした。文部省は1872年1月、学制起草のために洋学者を中心に12名の学制取調掛を任命した。同年（明治5年）9月4日（旧暦8月2日）に政府は太政官布告（後に「被仰出書」と呼ばれる）とともに「学制」を公布し、翌日、文部省は「学制」を各府県に頒布した。

フランスをモデルにしたと言われる「学制」だが、その成立する経緯については、非常に興味深い。文部卿（後の文部大臣）となった大木喬任や学制取調掛に任命された箕作麟祥、内田正雄、木村正辞、長三州などの人物像についてももっと知りたい。こうした点については倉沢剛氏の先行研究があるので、後日確認したい。

「学制」の頒布より前に、小学校は設立されていた。中でも著名なのが明治2年（1869）に設立された京都の番組小学校である。この1年間に64の小学校が設立され、その概要は福沢諭吉の「京都学校の記」にもまとめられている。設立の経緯については、明治35（1902）年に刊行された「京都小学三十年史」、大正7年に刊行された「京都小学五十年史」に詳しい。